



高橋

秋山

森西

代表質問者

高橋

誠

政津クラブ

事業創出で 緊急雇用対策を!

質問 緊急保証制度の現状と融資の
焦げ付きによる行政と信用保証協
会の責任割合はどうか。また、
年度末を控えた中小企業への緊急
対応策はどうか。

答弁 現在、七百六十業種三百八十
八件の認定。市の認定を受けても
信用保証協会の審査が通らない場
合もある。債務不履行の場合、信
用保証協会が代位弁済し、弁済額
の八割程度が保険金として日本政
策金融公庫から信用保証協会に支
払われ、残債の二割程度を信用保
証協会と行政が折半して負担。市
役所に、二十日から三月末まで
期間は祝日、土日の相談窓口を開
設する。

質問 公共事業に入札参加できない
零細業者へ、緊急対策事業として
小規模工事発注が可能な新たな救
済制度を図れないか。

答弁 市に物品等指定業者登録制度
があり、建築営繕で安易な案件と
して判断した場合、登録業者は発
注可能である。提案の小規模工事

契約希望者登録制度は、実際の発
注量の推移をみて検討したい。

質問 土地開発公社等の用地につい
て、国の制度改正が検討されてい
ると聞くが、内容と変更に伴うメ
リット、中期実施計画での協議と
考え方はどうか。

答弁 第三セクター等について、国
の対応状況の変化もあり、地方債
の特例措置が法案審議中だ。対象
となれば一定の効果が期待できる。
外郭団体の経営検討委員会で二十
一年度に財務状況の分析・改革プ
ラン策定を予定している。

質問 スローライフ列車の利用状況
と今後の計画。ごんごバス、福祉
バスの現行の運行体制の見直しは。

答弁 延べ十六日間開催、乗車は五
千三百五十人、乗車率百九十九%、
イベントへの参加等で一回あたり
五千人以上の参加。情報発信と沿
線の観光振興につなげ、今後も関
係団体等との連携を強め、引き続
き「スローライフ列車」の運行に
取り組みたい。「地域公共交通の

活性化及び再生に関する法律」に
基づき、本年三月に協議会を立ち
上げ、新しい交通体系をまとめた
い。現行のシステムを変更、料金
は路線ごとの調整を図りたい。

質問 学校コーディネーターの人員、
業務はどのようなものか。不登校
や非行防止等に応えるために県青
少年相談員、青少年アドバイザー
と学校校務員の支援要請はどうか。
教育施設の耐震診断結果はどのよ
うになっているか。

答弁 サポートチーム指導員の名称
で一名が、市内小中学校への支援
を行っており、関係機関の巡回
児童生徒の不登校などの情報収集
学校への指導助言を行っている。
県相談員五十一名、アドバイザー
四名と聞いており、位置付けと役
割を検討したい。校務員は内部で
検討したい。全体で七十二棟、う
ち建て替えが必要なのは四棟、補
強が必要なのは三十六棟、補強を
必要としないものが十六棟、残り
十六棟が診断待ちである。

議員は暑中見舞い・年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。